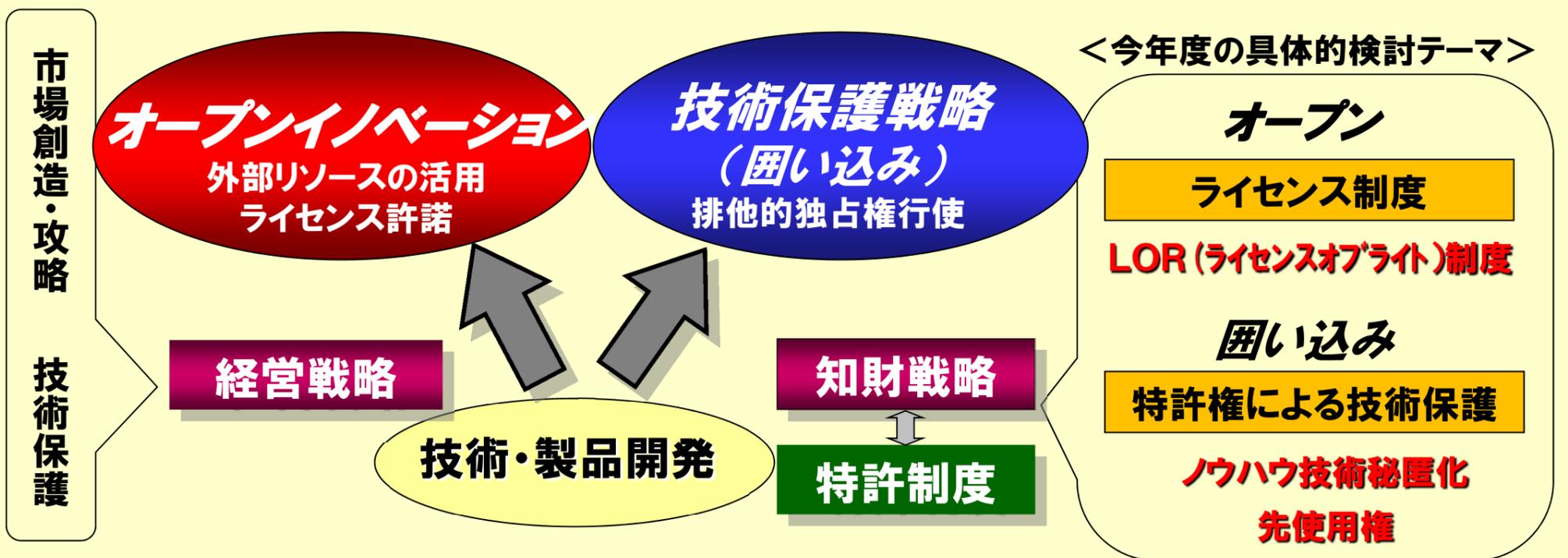


特許制度の在り方に関する研究 (第5小委員会)

市場創造・攻略を目的とする経営戦略に沿った知財戦略を実現するための特許制度の在り方に関する研究

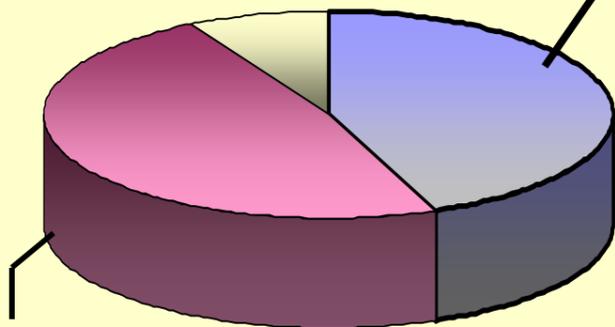


渉外的要素を有する特許権侵害訴訟に関する一考察 (第1小委員会)

- ① 国際裁判管轄に関する問題
- ② 準拠法に関する問題
- ③ 国境を越えた特許権侵害に関する問題



最高裁HP判例検索
(国際裁判管轄+準拠法)



特許権侵害事件 44%

- ① 国際裁判管轄が争点
- ② 準拠法が争点
- ③ 国境を越えた特許権侵害が争点
(侵害関与者の責任に関する問題も含む)

職務発明事件 48%
(「光ディスク」事件等)

裁判例の検討を基に実務家へ提言

特許権侵害訴訟におけるクレーム解釈の分析 (第2小委員会)

特許権侵害訴訟の権利者勝訴案件を題材に、特許発明の技術的範囲の認定と発明の要旨の認定にダブルスタンダードが存在するのかが検証し、その問題点を抽出する。

進歩性判断における主引用発明に関する考察 (第3小委員会)

- 「進歩性」判断の第一歩は「主引用発明」の選定である。
- ① 特徴部を開示したものとするか？
 - ② 基本構成を開示したものとするか？ その違いに着目し、裁判所の判断傾向を考察する。

「方法」の特許の意義について (第4小委員会)

「方法」の特許について、侵害訴訟における「立証」の諸問題と、「方法」の特許の権利解釈面での有用性について考察する。

詳細は
別途説明資料にて